

連載 性同一性障害の生徒の問題に向き合う



第2回 思春期における性同一性障害の子ども

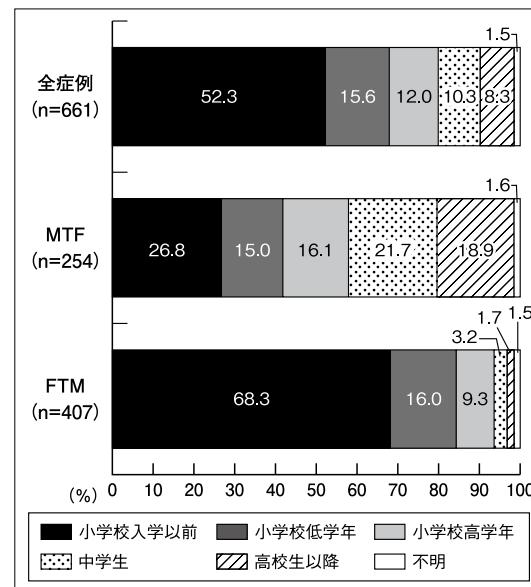
岡山大学大学院保健学研究科 教授、岡山大学病院ジェンダークリニック 中塚 幹也

心の性は変えられるか

男の子が隠れて口紅をつけたり、スカートをはいたりしているのを見つけた場合、家族の多くは、言い聞かせて直そうとする、叱る、あるいは、「一時の気の迷いだから」と放置することでしょう。また、学校の担任の先生に相談した場合も、必ずしも対応がなされないまま、子どもが傷ついていくこともあります。

このような子どものすべてが将来、性同一性障害(Gender Identity Disorder: GID)と診断されるわけではありませんが、岡山大学病院ジェンダークリニックでGIDと診断された661名のうち、約80%が小学校までに、約90%が中学校までに性別違和感を持っていました(図1)。

図1. 性別違和感を感じ始めた時期



GIDの子どもに対していくら説得しても、叱っても、心の性を変えることはできないことが知られています。また、精神科医が精神療法を行ったとしても、GID当事者の心の性を変えることができないことは、医療の歴史が証明しています。

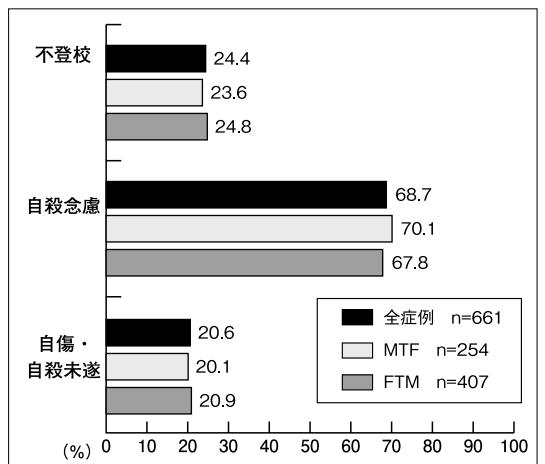
子どものGIDを診断するには、専門家による慎重な観察が必要です。しかし、子どもが性別違和感を持っていることに気づいた場合、それがGIDかどうかは別にして、まずは、その気持ちを受け止めて対応することが重要です。では、そのような対応が取られなかつた場合には、どのようなことが起きるのでしょうか?

性同一性障害を持つ子どもの悩み

性別違和感は、物心がついたころより始まることも多いのですが、思春期は、精神的に不安定な時期であるとともに、二次性徴で、望む性とは反対に、急速に身体が変化する時期です。また、交際や恋愛も始まります。そのため、焦燥感や抑うつ感を持ちやすくなり、多くの問題が発生します。

FTM (female to male: 身体の性は女性、心の性は男性)当事者に、「性同一性障害に関して最も悩んだこと」を挙げてもらうと、「ペニスがないなど性器に関する事」(26.7%)、「月経や乳房発育など二次性徴に関する事」(25.7%)、「女性を好きになったなど恋愛に関する事」(25.2%)の3つが高率でした。また、不登校、自殺念慮、自傷・自殺未遂は高率です(図2)。調査結果を見ると、全体の4人に1人が不登校、5人に1

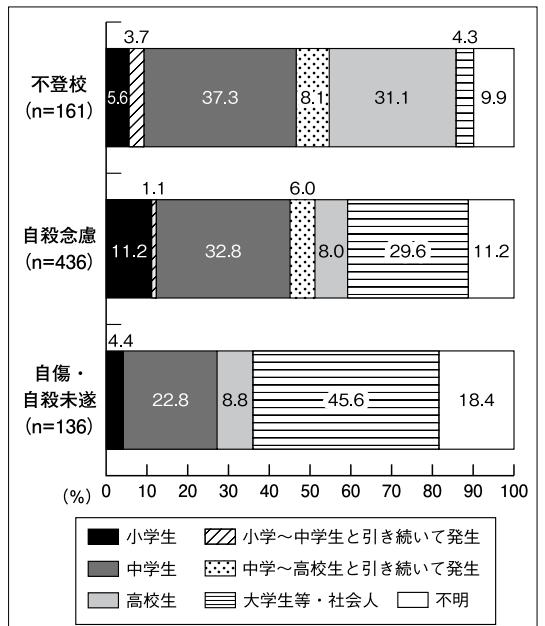
図2. 性同一性障害当事者に見られる問題



人が自傷行為・自殺未遂を経験、自殺を考えたことがある人は、約7割にも上ります。

自殺念慮の発生時期を見ると、最初のピークはやはり中学生のころです(図3)。また、社会への適応が求められる大学生・社会人になってから、第2のピークが現れます。しかし、小学生の時期に自殺念慮が強かったというGID当事者が、11.2%にも及ぶことにも注目すべきでしょう。

図3. 不登校、自殺念慮、自傷・自殺未遂の見られる時期



何歳のころに「性同一性障害」を知りたかったか?

GID当事者181名を対象とした調査を

見てみると、二次性徴の時期に関しては、FTM当事者では初経が平均12.8歳、乳房増大を自覚したのが平均12.2歳、また、MTF (male to female: 身体の性は男性、心の性は女性)当事者では、ひげが生え始めたのが平均15.3歳、変声が平均13.6歳でした。

中学生以前に性別違和感を自覚していたGID当事者について見てみると、「性同一性障害」について教えてほしかった時期は、FTM当事者では、二次性徴の発現するころである平均12.2歳であるのに対して、MTF当事者では、二次性徴発現より前の平均10.7歳であり、より早い時期に希望していました(実際に、GIDについて知った年齢は、それ平均22.0歳、平均29.4歳でした)。

FTM当事者では、男性ホルモン治療を始めれば月経も止まり、身体も男性化していくことが多いのですが、MTF当事者の低い声、ひげ、がっちりした体型は、二次性徴以後の女性ホルモン投与では変化が少ないのが実情です。この違いが、GIDについて知りたかった時期の違いに反映されていると考えられます。

性同一性障害をいつ教えるのか

小・中学校の教員716名への調査(日本産婦人科医会性教育指導セミナー、2009年)では、幼稚園や学校の先生が「性同一性障害」を教えるのに適当な時期としたのは、就学前3.5%、小学校低学年4.1%、小学校高学年24.8%、中学生37.9%、高校生16.9%でした。

これまで示したGID当事者の種々のデータを見ると、「性別違和感を持つ子どもに対しては、小学校高学年までにGIDについて説明するのが望ましい」ということが言えそうですが、現状は、小学校高学年までにGIDについて説明するとした教員は全体の約1/3であり、また、学校では「教えない」との回答も12.8%ありました。